

図書館名画座映画会

石原慎太郎追悼上映 (1956年 日本映画)

太陽の季節

原作：石原慎太郎 監督：古川卓巳
キャスト：長門裕之、南田洋子、石原裕次郎

虚無的で自由奔放な
若者の生き方を描き

『太陽族』という流行語まで生んだ、

石原慎太郎の芥川賞受賞作の映画化。

日時：5月30日(月)

13:30～開場

14:00～15:29上映

※13:00より前にはお並びいただけません。

定員

100名

マスクの着用
おねがいします

場所：逗子文化プラザ1階 さぎなみホール

※新型コロナウイルスの影響により、急ぎ中止や延期になる場合があります。ご理解と協力をお願いいたします。

主催：逗子市立図書館 TEL:046-871-5998

あらすじ

物語の舞台は昭和30年代の逗子海岸。ボクシングの練習に励みながらも、友人たちと共に酒、賭け事、女と遊び歩く裕福な家庭に生まれた高校生の津川竜哉は、銀座で良家の娘、武田英子と出会う。ふたりは徐々に親しくなるも、愛情を束縛ととらえる竜哉と、冷静だった気持ちが一瞬にして真剣な愛に変わっていく英子とのすれ違っていく悲しい恋愛模様を描く昭和の青春映画。

作品紹介

石原慎太郎の同名小説の映画化作品。この小説は、第1回文学界新人賞、および第34回芥川賞を受賞。監督・脚本は古川卓巳、製作は水の江瀧子、主演は長門裕之、ヒロインを南田洋子が演じている。原作者の石原慎太郎もサッカー選手役で特別出演。弟の石原裕次郎のデビュー作としても有名である。既成の秩序にとらわれずに、奔放に行動する若者を意味する流行語「太陽族」は『太陽の季節』から生まれた。